

# 幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 4月えんだより

年主題 「ともに」

年主題聖句 「わたしはあなたと共にいる。」

(イザヤ書43章5節)

寒暖差の大きかった冬から暖かな春が来ました。そして新たな出会いの始まりです。新入園の皆さん、ご入園おめでとうございます。一つ大きくなった在園児の皆さん、ご進級おめでとうございます。新年度も神様の愛に守られて、心満たされる日々となりますよう心からお祈りいたします。

2025年度の年主題聖句は「わたしはあなたと共にいる」とあります。新年度になり、新たな環境の中で生活を始める時、誰もが期待と不安の中での歩みとなります。初めての家庭以外で過ごす園児、送り出す保護者の皆さんも後ろ髪をひかれることでしょう。しかし、そのような不安な時であっても神様は「わたしはあなたと共にいる」と言われます。「ともに」あることの意味を保護者の皆様と一緒に考える・感じる一年になればと思います。

現代社会の中では、スマホ一つで簡単に情報が手に入る時代、更にAIが急速に社会を席卷し、プロセスではなく、結果に至る判断・スピードが評価され、求められている時代ではありますが、一方で個だけで完結してしまえる社会や、情報過多による不安、他者との「交わり」の希薄、自分自身の意思、主体性が薄くなることも懸念されています。人は決して一人では生きていけません。心理学者のエリクソンは人間の成長の中で、乳幼児期は信頼できる人（保護者・養育者）に出会い、十分な愛情を受けることで、世界が安心して信頼できる場所であるかを学ぶ時期（基本的信頼）と述べています。何よりも乳幼児に大切なことは、「ともに」あることでの安心・信頼です。ただ、「ともに」あることは最初から全てがスムーズにいくことばかりではなく、嬉しいことだけではなく、時には摩擦も生まれることもあるかもしれません。新年度、家庭以外の初めての社会の中で、子どもにとっては毎日が新しい体験の日々日々ですが、「ともに」遊び、「ともに」食べ、「ともに」祈り、「ともに」喜び、「ともに」泣き、「ともに」支え合うことを経験していくことで基本的信頼を醸成していくことも事実です。それは決して子どもだけではなく、私たち大人同士も、地域も「ともに」を感じる社会をめざすことが結果的に「平和」へとつながること信じています。新しい年度、新しい出会いの中に神様の愛があり、祝福がありますようお祈りします。そして皆様の変わらぬご協力とご支援を今年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

4月聖句：「あなたがたは神に愛されている子供です」 <エフェソの信徒への手紙5章1節>

4月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	はじめまして／よろしくね	だいじょうぶ／神さまに愛されて
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神様から愛されている大切な存在として受け入れられる</li> <li>・新しい環境の中で保育者や友だちとであい、安心して過ごす</li> <li>・保育者や友だちと一緒に祈り、賛美する中で生活する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい出会いの中で、進級児も新入児も保育者と一緒に賛美や祈りを通して神さまの愛に包まれている雰囲気を感じる</li> <li>・お祈りやさんびか、聖書のお話、そして保育者のまなざしやことばの中に、神さまに愛されているという安心を覚える</li> <li>・まわりの様子をみたり、好きな人や場所をみつけたり、くり返し遊ぶことで安心に過ごす</li> <li>・これまでの体験や関わりに重ねて、遊びの続きや友だちとの交わりを喜ぶ</li> </ul>
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌Ⅱ20	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌Ⅱ20